



◆令和6年最初の（令和5年度最後の）3月議会が終了しました！◆

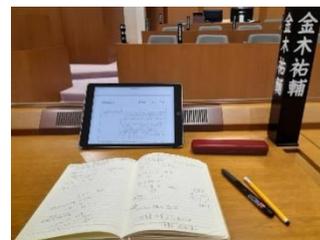
～今議会の「一般質問」では、2点について質問させていただきました！～

早いもので令和6年が始まり、すでに3ヶ月が過ぎようとしています、皆さんお元気でしょうか？
私が市議会議員として活動するようになってから、丸2年が経とうとしています。任期は4年ですので、あと2年間全ての面で努力をして、みなさんの代表としてもっと頑張りたいと、決意を新たにしています！

6月議会では2点を一般質問させていただきましたが、少しでも野田市民の方々のお役に立てているなら嬉しいです！

また今議会では、令和6年度の野田市の予算を決める「予算審査特別委員会」も行われ500ページを超える予算書を3日間、ページ毎に審議し、535億6500万円の一般会計予算案などが可決されました。（詳しくは野田市HPで！）

6月議会は、野田市は「市長選挙」があるため7月11日から始まる予定です。



- ① 指定ゴミ袋について いくつかの自治会で試験的にフルネームから番号やイニシャルは？ 理科大生にゴミ袋の学割を！
- ② 敬老祝い事業について お店に行けないお年寄りのお祝いには野田市共通商品券「NOX券」より、現金給付にしては？

① 近隣では野田市だけがやっているゴミ袋のフルネーム記名制についての質問です。この問題については以前から何度も議論されていたのですが、特に若い世代には、プライバシー保護の観点から反対意見が圧倒的に多く、今までも多くの議員が反対の立場で一般質問していたのです。

記名制により、ゴミの減量化やゴミ捨てルールが守られているという効果もあり、賛成の方もたくさんいるので、すぐに廃止すべきだ！ではなく、市で指定したいいくつかの自治会で、プライバシー保護等を考えて、抵抗が少ないと思われるナンバーやイニシャルなどを記入することを、試験的に導入したらどうか提案しました。

また色々な事情で住民票を移せずに、ゴミ袋を買わなければならない理科大生の苦しい現状を訴え、学割のような形でゴミ袋を何枚か、無償か低額で提供できないか質問しました。

【答弁】

指定ゴミ袋の記名制については導入して30年経過し、反対意見を含め色々な意見が出ているが、ゴミに責任を持たせ、減量化などの効果があることにより継続してきた。しかしながら、市民の方からも色々なご意見もいただいているので、ナンバー制なども含め時代に合った施策を検討していきたい。

理科大からゴミ袋の問い合わせはなく、現時点ではゴミ袋の無償提供などの対策は考えていない。住民票を移していない理科大生には、様々な市民サービスが受けられないことから住民票を移すよう伝えていきたい。

② 野田市で行っている「敬老祝い事業」では、100歳の方だけには現金で3万円を給付しているのに、88歳の方には5000円分、95歳の方には3000円分の共通商品券「NOX券」を給付しているのです。民生委員の方から「せっかくお祝いもらっても、使えるお店まで行く交通手段がなかったり、寝たきりの一人暮らしだったり、使えないお年寄りも多いから現金にしてもらえないのかしら？」と言う相談があり、一般質問しました。

【答弁】

昨年は88歳853名、95歳197名、100歳63名、計1113名が事業の対象となっている。敬老祝い金は、「NOX券」給付全事業の2割を占めていて、地域経済の活性化の観点からも「NOX券」給付枚数を減少させることは現時点では考えていない。

今まで対象となった高齢者から現金でほしいと言うような申し出はなく、民生委員の方からも直接的に要望されるようなことはなかったが、高齢者の方々に喜んでいただけるように、慎重に検討していきたい。

～議員になって分かった「あるあるクイズ！」 その5 「一般質問」ってぶっつけ本番？ 打ち合わせするの？ 時間は？～

私は教員だったので、たくさんの生徒の前で話をするのは慣れていますが、議会での一般質問はいつまで経っても慣れることがなく、何度やってもうまくできません😓 たくさんの方から「一般質問はぶっつけ本番なの？」「あらかじめ打ち合わせするの？」「時間制限あるの？」と聞かれることが多いです。そこで今回のクイズはこの一般質問！

さて、一般質問は事前に打ち合わせしているのでしょうか？ それともぶっつけ本番？ 時間制限はあるのかな？

前号の続きで「行政視察」のお話！

そもそも、なんのために税金を使って他の自治体に視察に行くのか？ということですが、多くの地方議員は自分が住む自治体の政策課題について、その解決方法や成果を出すためにはどうすればいいのかを、考えていると思います。そこで、その課題解決のヒントを得るために行政視察に行くわけです。

どこに行くかは、夏頃に委員会毎に各議員が候補地を選択してプレゼンを行い、先進的な取り組みで注目されている自治体、野田市の課題解決に役立つような取り組みをしている自治体等、選んで決めることになります。

教え子に「視察って、実際に行かなくてもリモートとかでもできるのでは？」と言われたのですが、やはり実際にその場所に行って話を伺い、質疑応答や意見交換等を見ながら見えてくるものがたくさんあるんですね。

私の所属している「文教福祉委員会」では、昨年10月25日（水）26日（木）の2日間で、伊東市（静岡県）と門真市（大阪府）に視察に行かせていただきました。

前回同様、かなりのハードスケジュール。東京駅10時発「踊り子号」で伊東市に向かい、1時から湾が一望できる伊東市役所で「通級指導教室」を視察しましたが、ここの市議会議場は海側全面ガラス張りオーシャンビューで、最高の眺望でした！

その後、熱海まで戻り新幹線で6時過ぎに京都に到着。あこがれの観光地「京都」なのに駅前のホテルに泊まっただけで、駅近の飲食店で晩御飯を食べ（もちろん自腹(笑)）翌朝7時には、修学旅行生や観光客と一緒に朝食を済ませ、8時にはチェックアウト。

門真市役所で「学校適正配置推進事業」について視察して、新大阪駅で新幹線を待つ時間だけがランチ&自由時間。2時半発の新幹線で品川へ、柏駅には6時前に到着！

今回の視察は、少子化で学校の統合の問題を抱えていたり、特別支援級の通級教室も課題になっている今の野田市にとって、大変参考になる行政視察でした。

詳細は、野田市役所HPで報告書を見ることができるので、ぜひご覧下さい！



唯一の京都らしい写真・夜の京都タワー

★トピックス★

野田市で取り組んでいる「高齢者支援ボランティア制度」をご存知ですか？ これは野田市在住の65歳以上の方が対象で、市内の高齢者施設でボランティア活動をすることによって、その活動を通じてやりがいや生きがいを持ち、自身の介護予防にも繋げようという活動で、65歳オーバーでないとは参加できない高齢者限定のボランティア活動なんです！

私も、去年の3月議会での一般質問で、この制度について何点が質問したこともあり、実際に経験してみないと見えてこない色々な問題も見えてくるかと思い、7月の説明会に参加して登録を済ませ、8月から自宅近くの高齢者施設で活動を始めてみたのです。ボランティア活動は無償だからこそそのボランティアなのですが、この制度の特徴は1日1時間活動するとスタンプを一つ押ししてもらえて（1日上限2スタンプ）、年間で10個貯まると1000円、1年間で上限5000円が市から支給されるという特典付きなのです。時給換算だと「時給100円」ですね(^^)!

議会がない時、週に1~2回、市役所から帰った午後や土日の午前中などに行き、お年寄りと一緒に「ラジオ体操第一」「枝豆体操」（野田市オリジナルの体操!）「梅干し体操」で体を動かし、カラオケの日には「すきま風」を熱唱！将棋が好きな方との真剣勝負も！

暑くて雑草の勢いも凄かった真夏には炎天下の中、草刈り機で汗をかきかき雑草を刈りまくった事も何度か。利用者のお年寄りや、スタッフの方々のお役に立って喜んでもらえると思うと嬉しくて、スタンプももうすぐ80個を超えそうです。

デビューした初日、自己紹介をした際にはスタッフの方が「金木さんはおいくつでしょう？」と、お年寄りの方々にクイズを出したら、「80歳!」と力強く答えた大先輩のご婦人がいて、これにはビックリ&大爆笑! 「あの利用者さんはどんな方なんですか？」と聞くと「とてもしっかりした方ですよ!」と言われ、またまた大爆笑してしまいました 😊



~「あるあるクイズ!!」その⑤ 答え!~

議会が始まる前に、一般質問を予定している議員は、質問は何項目で、どんな内容を一般質問するか、予め市の担当部署(当局)に知らせる「一般質問通告書」を提出します。

すると、それを受けて議会初日の午後、当局の方が「聞き取り」と言い、各会派の部屋を訪れ、この質問はどういう意図があるのか、他に質問はないか等、いわゆる打ち合わせを行います。

また、議員はそれぞれの原稿を事務局に提出します。議員は、ぶっつけ本番ではなく、原稿も作って準備をして一般質問に臨み、原稿を読みながらもアドリブを交えて質問しています。

制限時間は40分、それは議員が説明している時間だけカウントされ、当局の答弁はカウントされません。その場面に応じたアドリブでのやりとりが金木はまだまだなんです。一般質問の映像は野田市のHPから「市議会」に入り見ることができます。頭が異様に光ってて恥ずかしい(T_T)

